



まがたま

第78号 平成27年3月11日
練馬区立豊玉中学校
〒176-0014 練馬区豊玉南 2-1-20
tel 03(3994)1451 fax 03(5984)2461
E-mail
info@toyotama-j.nerima-tyky.ed.jp
URL
<http://www.toyotama-j.nerima-tyky.ed.jp>

新たな出発に備える…!

校長 井田 宗宏^{いだむねひろ}

桜の木は、その花が散ったとき、すでに翌年の花芽はできているそうです。その花芽はとても小さくて硬いものです。そして、暑い夏を越し、秋を経て、冬を経験することによって、春にまた花を咲かせます。花芽は零度近い厳しい寒さを経験しなければ開花のためのホルモンを自ら作り出すことができません。厳しさを経験し乗り越えたからこそ、この季節に見事な花を咲かせてくれるのだそうです。本校の生徒と重なるものを感じます。与えられた環境を糧として成長し開花させていくものは、ほかでもない自分自身であるということです。

さて、学校の方はお陰様で平成26年度も大過なく、ここまで来ることができました。これも一重に保護者、地域の皆様のご理解とご協力があったことです。深く感謝申し上げます。3月2日に都立高校の合格発表が行われ、進路については一つの山を越えた感がします。しかし、3年生全員の進路が決定するまでは、気が抜けません。卒業式には、全員が笑顔で新たな門出ができればと願っています。

先日、京セラの名誉会長、稲盛和夫さんが執筆された「生き方」という本を読んでいます。「企業も教育も同じだな」という内容がありましたので、ご紹介いたします。その中で「六つの精進」という表現でまとめられていました。①誰にも負けない努力をする。②謙虚にして驕らず。③反省ある日々を送る。④生きていることに感謝する。⑤善行、利他行を積む。⑥感性的な悩みをしない。

稲盛さんは、このようなことを常に自分に言い聞かせ、実践するよう心がけていらっしゃるようです。当たり前的心がけを、日々の暮らしに溶かし込むように、少しずつ堅実に実践され、現在、世界中から注目される会社を作られてきたようです。

各界ですばらしい仕事を成し遂げ、立派な業績を残した人たちは、節目を乗り越えて、人生を送られています。実に波乱に満ちた生涯を過ごしていたり、経済的にも家庭的にも恵まれた環境で育ったとしても、両親の厳しい躰を受けたとか、受験に何回も失敗したとか、必ず辛いことがあって、自分でその節目を乗り越えてきた人たちばかりなのです。

卒業式では生徒の皆さんにこのような趣旨のお話をする予定です。人間は自分で自分に厳しい課題を課し、それを解決するために、苦労や努力を重ね、困難に立ち向かっていこうとする積極的な生き方こそ、大切であると思います。

具体的な目標を持って生活している人は目の輝きが違います。言葉の端々に決意のような物が感じ取られます。そのような意識でいると、たとえ失敗しても、挫折しても進む方向がはっきりしているので、生き方にぶれは生じません。

特に卒業生をお持ちのご家庭におかれましては、人間として生涯を生き抜く力を、4月からの新しい環境で十分に発揮できますよう、ご支援をよろしくお願い申し上げます。年度の終わりにあたり、改めて関係の皆様にご挨拶申し上げますとともに、次年度も引き続きよろしく申し上げます。

よいよい社会を考えた「福祉」の授業を行いました!!

■ 2月27日(金)に、3年生で講師をお招きし福祉をテーマにした総合の授業を実施しました。

「福祉（視覚障害のある方をお招きして）」 3年総合担当 神津 秀樹

視覚障害がある方の話を聞いて、目が見えないことによる不安感や、生活していくうえでの不便さについて知ることができ、日常生活で使用する品物にどのような工夫がされているかを実際の品物を見て、少しの工夫で目が見えなくても使用しやすくなることを学びました。また、代表にでた生徒が目をつむり、白杖を使用して歩いたり、目をつむった相手を誘導する体験を行いました。いろいろな物を見たり、話を聞いたり、実際に体験することにより、視覚障害のある方々の苦勞を知る良い機会になりました。

進路決定もいよいよ大詰め!! 未来に羽ばたけ!!

■ 3年生の進路決定もいよいよ大詰めの時期となりました。今年の進路情報をお知らせします。

「今年度の入試と、これからの入試」 3年進路担当 徳原 正枝

今回の入試は、定員割れする学校は少なく、倍率が2倍前後の学校も目立ち、学校選びによっては厳しい状況もあったと思います。子供が少なくなってきたとはいえ、全体で200名の定員減となっているため倍率は下がりませんでした。さて、来年度から学力検査に基づく入試（いわゆる一般入試）が変わります。分割前期学力検査では、学力検査が5教科に統一されたり、調査書点で実技4教科が2倍換算となったりします。これから受験に望む1・2年生はこれを機に、あらためて学校での授業を大切に受けることを、心がけていてもらいたいです。

全員が達成感を味わった2学年・スキー移動教室!!

■ 2月24日(火)から27日(金)までの3泊4日の日程で、2学年でスキー移動教室が実施されました。天候にも恵まれ、スキー実習も宿舎での生活も充実した4日間を過ごしました。

「笑いあり、涙あり、課題あり」 2年スキー移動教室担当 桑原 宏一

1年生の臨海学校以来となる宿泊行事ということもあり、準備の時から胸を躍らせる仲間が多くいました。実行委員の提案により、「スキー教室はみんなが楽しむものなんです」を達成すべく、各係がそれぞれの仕事を全うしてくれました。スキー場でも、全員がリフトに乗り、3日目には大半が頂上から滑り、達成感を味わっている姿が印象的でした。特に、時間を守って行動することは完璧でした。3年生に向けて日々の生活で発揮してくれることを期待しています。また、「仲間」を大切にしている行動について、各々でよく考える機会をつくってください。



三年生へ感謝の気持ちを込めて「三年生を送る会」!!

■ 3月13日(金)に、練馬文化センター小ホールにて三年生を送る会を実施いたします。午前中は合唱コンクールの部、午後は舞台発表の部となります。皆様お誘いの上ご参観ください。

「三年生を送る会」 三年生を送る会担当 野井 信子

この時期、校舎のあちらこちらで生徒たちの歌声が聞こえます。三年生を送る会では、卒業していく3年生に1・2年生が歌声にのせて応援のエールを贈ります。各学年の実行委員は、先頭になって合唱練習をまとめ、当日の準備も進めてきました。また、交流会は、運動会、学習発表会、委員会などいろんな場面でお世話になった3年生にインタビューをしながら進めていきます。思いもかけないエピソードが聞けるかもしれません。最後は、全員で「ありがとう」の歌を歌います。ご来場の皆様も一緒の大合唱になるように願っています。

卒業式は最後の授業 三年生の皆さん、卒業式もいよいよ間近に迫りました。豊玉中での残り数日は、3年間を一緒に過ごした仲間とのかけがえない時間になります。20日の卒業式は、人生の節目を刻む中学校最後の授業です。堂々と胸を張り若者らしく清々しい姿を見せてくれることを期待します。

